

# 經濟環境委員會記錄

[第2日目]

1 日 時 令和4年3月15日（火曜日）

開 会	午前11時12分
休 憩	午前11時17分
再 開	午後 0時28分
休 憩	午後 0時38分
再 開	午後 1時32分
休 憩	午後 1時32分
再 開	午後 2時18分
閉 会	午後 2時28分

2 場 所 第 3 委 員 会 室

3 出席委員 9人

委 員 長	押 田 大 祐
副委員長	尾 上 一 彦
委 員	飯 山 勝 彦
//	澤 田 和 秀
//	泉 英 之
//	上 野 螢
//	舍 川 智 也
//	松 尾 茂
//	鋪 田 博 紀

4 欠席委員 0人

## 5 説明のため出席した者

### 【環境部】

部長	杉谷 要
理事（環境センター所長）	伊東 繁
部次長	茶木 聖一
環境政策課長	沼崎 益大
環境保全課長	飯田 哲
環境センター次長（管理課長）	長崎 秀樹
環境センター業務課長	田近 淳
環境政策課主幹（調整担当）	窪喜 大輔
環境政策課主幹	小林 将司
環境政策課主幹	東福 光晴
環境保全課主幹	高道 伸治
環境センター管理課主幹（管理課長代理）	備後 淳一
環境センター業務課主幹（業務課長代理・業務第1係長）	藤根 昇

### 【商工労働部】

部長	大場 一成
部次長	梅沢 宗仁
部次長（コンベンション・薬業・観光振興担当）	竹井 博文
商業労政課長	高橋 洋
工業政策課長	坂口 輝之
薬業物産課長	由水 正恵
観光政策課長	佐伯 徳生
公営競技事務所長	松本 晃司
職業訓練センター所長	宮田 一博
商業労政課主幹（調整担当）	仙石 正明

### 【農業委員会事務局】

事務局長	井水 清智
参事（事務局次長）	久郷 元幸

## 【農林水産部】

部長	山口 忠司
理事（農林水産部次長）	酒井 秀祐
部次長（技術担当）	本林 成元
農林事務所長	梅田 一好
地方卸売市場長	杉本 周児
参事（農村整備課長）	前田 剛
農政企画課長	三邊 泰弘
農業水産課長	谷井 隆彦
森林政策課長	金井 誠
農林事務所農業振興課長	余川 洋成
農林事務所農地林務課長	谷崎 友紀
地方卸売市場次長	水野 智
営農サポートセンター所長	山崎 晃
農政企画課主幹（調整担当）	高畑 亘

## 6 職務のために出席した者

### 【議会事務局】

議事調査課長	野嶽 誠司
議事調査課主任	牧石 真理
議事調査課主事	北山 栞

## 7 会議の概要

委員長

経済環境委員会を開きます。

これより、環境部所管分に入ります。

本委員会に付託された議案及び議決不要の報告案件はございませんので、この際、何か質問はございませんか。

鋪田委員

エコタウンについてお伺いしたいと思います。家庭用生ごみのリサイクルをしていた事業者について、新たな投資がなかなか難しいというお話なども今年度はありました。

前回の委員会でもお話ししたとおり、エコタウンをつくった過程で議員をやっていたのはこの委員会では私だけですし、あとは高田重信議員や赤星議員など、本当に限られた方々だと思うのです。改めて、こうした環境の変化—こういった事業については非常に多額の投資も必要になりますし、また、先ほど分科会でセルロース化事業の話もされまして、新たな環境ビジネスの世界というものも変化が大きくなっていると思うのですけれども、これを機会にエコタウンの在り方というものをいろいろと考えていく必要があるのではないかと。

例えば補助金を出すにしても、結局、基本的

には市の工業団地などと同じような扱いをしていかなければいけないというところもある一方で、エコタウンならではの縛りのようなものがある、そういった意味で、これから富山市が環境未来都市としてこういった施策を実行していくに当たって、やはりその辺りをもう一度考え直していく必要があるかと思いますが、所見をお伺いいたします。

環境政策課長

エコタウンにつきましては、委員のおっしゃるように、第1期事業として平成15年度に4つの施設、それから第2期事業として平成17年度から平成27年度の間、4つの施設、事業所が参加され、現在7つの事業所で操業が行われております。

操業開始からもう15年以上たつところが非常に多くて、そういった設備の更新を迎えるところもこれから多々出てくるのかなと予想しております。

先ほど言われた生ごみリサイクル事業も改修が必要でございましたけれども、一方で、エコタウンにつきましては、もともと整備するに当たって、周辺環境や地域住民に配慮するための、例えば都市計画法上の地区計画が定めてあります。それから、国の補助要件でもございましたけれども、基本構想を定めた富

山市エコタウンプランなど、幾つかの一定のルールの下に整備を行ってきたところでございます。そこには建築物の用途制限や緩衝帯の設置義務、臭気や騒音などの測定といったことも盛り込まれております。

今後、設備の更新もさることながら、そういった用途制限と、リサイクル技術などの大きな革新も反映した設備更新を行いたいという事業所も出てくる可能性がございますので、その辺りにつきましては、周辺環境など地域の住民の方とも意見調整を図りながら、地区計画の見直しも含めて、できるだけ新しい状況に合わせた仕組みづくりということもこれから柔軟に考えていかなければならないと思っております。

鋪田委員

そういった様々な制限がかかっているということを知らない市民の方もかなり多いと思います。周辺の方々とは十分協議の上で団地を整備してきていますので、そうではないと思うのですけれども……。

環境政策をめぐる環境についても、ビジネスモデルや技術革新は変化が早いので、それに対応したものにしていかなければ、エコタウンというものをせっかく整備した当初の目的が達成できなくなっていくますので、引き続

き、しっかりと取り組んでいただきたいと思います。

また、そういったことに関しては、その都度議会にもいろいろと投げかけをしていただければと思っておりますので、よろしくお願い致します。

委員長 ほかになにか質問はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会環境部所管分を終了いたします。

午前 11 時 17 分 休憩

~~~~~

午後 0 時 28 分 再開

委員長 経済環境委員会商工労働部所管分の議案の審査を行います。

議案第31号 とやまインキュベータ・オフィス条例の一部を改正する条例制定の件  
を議題といたします。

これより、当局の説明を求めます。

工業政策課長 〔議案書により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、これをもって議案の質疑を終結いたします。  
これより、議案第31号の討論に入ります。  
討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 討論なしと認めます。  
これより、議案第31号を採決いたします。  
本案件は、原案のとおり決することに御異議  
ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 御異議なしと認めます。  
よって、本案件は原案可決されました。  
以上で商工労働部所管分の議案の審査を終了  
いたします。  
次に、商工労働部所管分で、ただいまの議案

以外に何か質問はございませんか。

泉委員

今、原油先物価格が1バレル100ドルを超えるなどとテレビでよく報道されているのですが、ロシアとウクライナの戦争による禁輸の影響で、ストラテジストが言うには最高で1バレル300ドルぐらまで上がるかもしれないという中で、ガソリンもそうなのですが、今、指定管理も含め、商工労働部所管分で入浴施設をかなり抱えていらっしゃると思います。

例えばの話ですけれども、白樺の湯は今、地元住民で経営しているのですが、平均して大体1日100人程度は入浴に来ています。ですが、入場料が440円ですので、基本的には4万4,000円しか収入がない中において、ほぼ燃料費に使われてしまっている状況があります。温泉も最初は週1日休みだったのが、今は3日から4日、ひょっとしたらもう営業すればするだけ赤字になってしまうと。例えば楽今日館にしても、やっぱりそういう状況だと思っております。

それで、今すぐにと言うわけではないのですが、この状態が続けば、入浴施設というものはもう今年いっぱい成り立たない、閉鎖ということになるので、ぜひとも6月の補正など

できちんとした施策を打っていただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

観光政策課長 国際情勢の緊迫などによりまして、原油価格が非常に高騰する状況が続いていることはこちらでも認識しております。国のほうでも原油価格高騰に対する緊急対策を実施されており、激変緩和事業として、今まで1リットル当たり5円だった補助金が上限を25円まで引き上げられたという状況もあります。

今回の原油価格の高騰については、もちろん観光事業者をはじめとして、農林業や運輸業、それから、今ほどありました銭湯やクリーニング事業者等の生活衛生関係事業者なども大きな影響を受けているということで、国や県、他の自治体の動向も注視しながら、本市としては、必要な対策については関係部局が複数にわたるかと思いますので、そういったところと連携をしながら検討する必要があるのではないかと考えております。

また、観光政策課が所管しております入浴関係の施設で、牛岳温泉健康センターや楽今日館等につきましては、指定管理という形の運営になっておりまして、基本的には利用料金制での導入になっています。

それらの指定管理者に施設の管理運営を委託

していることになるのですけれども、新型コロナウイルス感染症による利用者の大きな減少と併せ、今回の燃料費の高騰により大きな影響を受けておりまして、非常に厳しい状況になっております。

現状は、経費を極限まで削減していただきながら何とか運営していただいている状況なのですけれども、今後こういった急激な物価の変動などで運営施設の営業に支障が出てくる場合に関しては、指定管理者と市で協議しながら対策を考えていくことになっておりますので、燃料価格の状況は引き続きしっかりと注視していかなければいけないと考えております。

商工労働部長 追加で補足させていただきます。

今、観光政策課長が申し上げたとおりでございます。原油価格の高騰が地域経済に与える影響は非常に大きいと考えております。様々な業界に影響を及ぼすという事態でございますので、富山市は基礎自治体でございますが、国や県の動向等を踏まえながら、関係部局において、必要に応じて基礎自治体として対応できることを今後検討していくことになるかと思っております。

松尾委員

今回も、薬業資料のデジタルアーカイブ化など、薬都とやまの300年の歴史を本当に大切にしていこうという流れがあるわけですが、今まだ現役の売薬さんが富山市にも結構いらっしゃるということで、この方たちの職自体が、新型コロナウイルス感染症の影響もありますし、高齢化、後継者不足ということもあって、職として成り立っていくのかという心配もあるのです。

こういった方々に対して、本市として何か支援するという言い方がいいのか分かりませんが、売薬さんたちを守っていこうという考えというか、市としてどのように思っているのかお聞かせください。

薬業物産課長

今回提案させていただいている新規事業のうち、薬都とやま価値創造事業は、薬都とやまのイメージアップと将来を担う人材の育成を目的に、中・高校生に少しでも興味、関心を持っていただくところから事業化しております。

お尋ねの配置従事者の方々の状況につきましては、実は憂慮しているところなのですが、現時点では、研修会の開催や長年働いてこられた方への薬業功労者表彰、新規従事者への記念品の贈呈などといった事業を実施

しております。こういった事業を引き続き実施していくとともに、今回、国の3月補正予算で小規模事業者、中規模事業者に対するいろいろな事業復活支援金などもありますので、配置従事者の方から事業に関する御相談などがあった場合には、各種新制度についてアドバイスや情報提供をするなど、県や市のほかの関係部署などとも連携して適切に対応してまいりたいと考えております。

松尾委員

今言われたように、国の支援制度というものがあるのですが、ただそれを知らない、分からない方もたくさんいらっしゃるので、本当に意識してバックアップを一でできることとできないことがありますから、ただ、できることはしっかりお願いしたいと思います。

委員長

ほかに質問はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長

ないようですので、この程度にとどめます。以上で、経済環境委員会商工労働部所管分を終了いたします。

午後 0時38分 休憩

~~~~~

午後 1時32分 再開

委員長 経済環境委員会農業委員会事務局所管分に入ります。  
本委員会に付託された議案及び議決不要の報告案件はありませんので、この際、何か御質問はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会農業委員会事務局所管分を終了いたします。

午後 1時32分 休憩

~~~~~

午後 2時18分 再開

委員長 経済環境委員会農林水産部所管分の議案の審査を行います。  
議案第32号 富山市林道条例の一部を改正する条例制定の件、  
議案第38号 財産の無償貸付の件、  
以上2件を一括議題といたします。  
これより、当局の説明を求めます。

農林事務所 〔議案第38号について、  
農業振興課長 議案書により説明〕

農林事務所 〔議案第32号について、  
農地林務課長 議案書により説明〕

委員長 これより、質疑に入ります。  
質疑はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 ないようですので、これをもって議案の質疑  
を終結いたします。  
これより、議案第32号、議案第38号、以  
上2件を一括して討論に入ります。  
討論はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 討論なしと認めます。  
これより、議案第32号、議案第38号、以  
上2件を一括して採決いたします。  
各案件は、原案のとおり決することに御異議  
ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 御異議なしと認めます。  
よって、各案件は原案可決されました。  
以上で、農林水産部所管分の議案の審査を終了いたします。  
次に、  
富山市古洞の森自然活用村の今後について  
当局の報告を求めます。

農業水産課長 〔委員会資料により説明〕

委員長 ただいまの説明について、何か御質問はございませんか。

〔発言する者なし〕

委員長 ないようですので、この程度にとどめます。  
次に、農林水産部所管分で、議案及びただいまの報告以外に何か質問はございませんか。

泉委員 先ほどの分科会でスマート農業関係の事業について提示がなされました。1つだけ総体として聞きたいのが、これまで農業の取組を行っていて、このスマート農業というものをこれから取り入れるに当たって、例えば省力化がどのくらいされているだとか、こういったときにはこういうもので間に合うなどという

数値目標のようなものが定められるものなのか、こういった改善力があるのかお聞かせください。

農村整備課長 今、委員の言われました省力化などの生産効率とその検証結果ですけれども、生産効率の定量的なデータにつきましては、国立研究開発法人にあります通称農研機構というところにおきまして効果を検証されておりました、経験を重ねることで生産効率が上がると言われております。

そのほか、水橋地区では圃場の大区画化ということでこれから国営農地再編整備事業が行われますが、大区画化によって労働力の7割縮減にもつながると試算されております。

いずれにいたしましても、水橋地区をはじめ、土地改良事業、そしてスマート農業というものを抱き合わせて、さらなる相乗効果が期待されるのではないかと考えております。

農林水産部長 今ほど委員から言われましたように、スマート農業による効率化ということで、目標を持って数値化し、計測していくということは必要なことだと考えております。

水橋地区では労働力の7割を削減という目標もありますし、実際、エゴマ栽培で取り組ん

でありますスマート農業につきましても、いろいろな作業を4割削減できたという数値がもう出てきております。ですから、今後そういった数値を目標に掲げて、それを達成するという目標の下に進めていくという取組は必要だと考えます。

それに加えて、スマート農業のよさとして省力化ということもございます。本会議でも答弁させていただいたのですが、あおば農協に至っては、この2年足らずでドローンを40機入れておられます。どのような作業をしておられるのかといいますと、特に顕著なのが、中山間地域における棚田などののり面一のり面は角度が急なのですけれども、草刈り機を使っていらっしゃるということで、非常に危険な作業をしておられたと。それをドローンを使って除草剤をまくことから危険がなくなるということで、高齢化している農業従事者に喜ばれていると。こういった面はなかなか数値に表しにくいところもございます。

それともう一つは、これも何度か答弁していますが、経験に基づく農業からデータに基づく農業ということで、今、エゴマ栽培のスマート農業において、いろいろなセンサーを使って、例えば気温やpH、水温など、いろいろな情報を集めて、センサーネットワークを

使ってアプリケーションを飛ばすと。今そのデータを蓄積しておりまして、今後それらを使った農業ができるようにしていけないかと思っています。

今までは、自分は農家ではないから農業はできませんということで農業の敷居が高かったのですけれども、データに基づく農業をすることによって、その敷居を低くできないか。つまり、農業の経験がない若い方でも農業をやれる可能性が出てくるのではないかということで、そういう意味からも、我々はスマート農業を普及させています。

こちら辺はなかなかデータが取りづらいところでありまして一効率化という面では当然データを取っていきますけれども一それ以外のスマート農業のよさもありますので、我々としてはそういう面も市民に対してPRしていきたいと思っております。

委員長                   ほかに質問はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長                   ないようですので、この程度にとどめます。  
以上で、経済環境委員会農林水産部所管分を終了いたします。

これで、3月定例会の当委員会に付託されました全議案の審査は終了いたしました。  
委員各位に御相談申し上げます。  
委員長報告については、正・副委員長に御一任願いたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、そのように取り計らいます。  
これをもって、令和4年3月定例会の経済環境委員会を閉会いたします。

令和4年3月定例会  
経済環境委員会記録署名

委員長 押田大祐

署名委員 飯山勝彦

署名委員 澤田和秀